

夢拾いと子育て

広島県

吉盛よしもり

寿末ひさみ



くれる。

夢拾いを始めたのは2018年。駅前を歩いていると、街頭の掲示板の「夢拾いをしませんか」の文字が飛び込んできた。「夢拾い」、なんて素敵な言葉なんだろう。普段から道端に落ちているゴミが気になっていた。親として、娘たちに心地良くこの街で育ってほしかった。「夢拾い」の文字を神様から受け取った私は、意を決して参加することにした。

当時、長女は3歳、次女は3か月。早朝に加え、前日からの準備が必要だった。それでも一緒に参加した理由は、子育てに絶大な効果があると信じていたから。

期待した効果の1つは、メンバーとの出会いだ。夢拾いでは、さまざまな価値観、考え、生き方

を持った人たちに出会える。その出会いが、自分に新しい世界と成長をもたらすと信じた。2つ目に、自分の街や地球環境を身近に勉強できるチャンスだと考えた。人間以外の生物や物が存在するこの街で、思いやりのある子に育ってほしいと願った。

そして4年が経過した現在、長女は「街がきれいになったし、友だちができて嬉しい」と言い、「子ども夢拾い(※)」の代表として活躍している。ベビーカーに乗っていた次女は4歳。「地球を浄化したい」と自作の歌を作り、みんなを和ませる。2人の姿を見ていると、続けて良かったなあと胸をなでおろしている。

※子ども主体で行う夢拾い

(739)002 広島県東広島市西条町吉行181-17

「ここにあったよ」「あ、ここにもあった!」と、目を輝かせ声かはずんでいるのは、当時3歳の長女。宝探しのようだ。そのひたむきな姿は、私の心もきれいにし

郷土への愛着が 日本を美しくする原動力

群馬県

松崎 まつざき
靖 やすし



群馬県みどり市大間々町は、江戸時代から足尾銅山の銅を運ぶ「銅（あかがね）街道」の宿場町

として栄え、大正初期に足尾鉄道（現わたらせ渓谷鐵道）が開通してからは、大間々駅が沿線地域の中心的役割を担ってきた。

そんな大間々駅のトイレ掃除を1997年から毎週続けているのが「郷土を美しくする会」だ。

きっかけは、同年の町づくりの勉強会で、講師の「この町は歴史や観光資源に恵まれた良い町だが、駅のトイレが汚かった」という一言だった。

勉強会のあと、友人のひとりが「あんなことを言われちゃ面白くないから、俺たちで掃除をやっちゃうべー」といい出し、翌朝6時からトイレ掃除を行なった。

私はその数年前に、鍵山秀三郎さんの生き方や実践を知り、掃除道具を揃えて一人で自分の

店（洋品店）のトイレ磨きを続けていたので嬉しかった。自分が住む町に誇りや愛着がなければ、いえない言葉だと思った。

金曜日の大間々駅トイレ掃除は、いかなる天候や新型コロナウイルス感染拡大の中でも、一週も途切れずに続いている。2016年9月9日、千回目の日には、県内の掃除仲間が勿論、宮城県、静岡県、兵庫県からも仲間が駆けつけてくれ、一緒に掃除をした。涙を抑えることができなかった。（写真）

郷土を美しくする会は、「日本を美しくする会」の賛助会員で「鍵山掃除道」を実践している。自分たちが住む町を美しくすることとが日本を美しくすることにつながることを確信して、今後も活動を続けていきたい。

教師力を上げる掃除

愛知県

木原 きはら

勝利 かつとし



もなく、我流で始めました。手ごたえもなくさぼるようになり、いづれ掃除のことは忘れられました。

2015年、読書会で知り合った小山晃範先生の勤務校でのトイレ掃除の会に参加しました。あの程度「知って」参加したものの、眼前の頑固な汚れにひるみませんでした。それも数分だけで、すぐに便器磨きに没頭しました。感想交流での清々しさは格別で、自分が何か大きく変わり、前進できた気がして、胸が熱くなりました。

そこで高野先生に出会い、その後便教会総会にも出て、多くの方と知り合い、勤務校でもやってみたいと思うようになりました。

今は月に1回、勤務する扶桑東小学校でミニ便教会を行っています。他校や地域の方も参加

されます。教頭先生が「ぜひに」と言ってくださり、活動を学校のホームページで紹介してもらえようになりました。

掃除を続けていると、小さな汚れや裏側の汚れにも「気づく」ようになります。これは、見えていなかった「自分に気づく」ことになり、ひいては「子どもたちに気づく」ことになります。

教師が「気づく力」を上げ、子どもの気持ちや成長をつかむこととです。教室に「凡事徹底」の標語を掲げ、日々子どもたちと掃除に取り組んでいます。便教会で実感している学びを、自信をもって子どもたちに教えられます。掃除は教師力を上げます。人間力につながる原点です。

20年くらい前、月刊『致知』で鍵山相談役と高野修滋先生の対談を読みました。新米教師で授業がうまくなりたかったので、トイレ掃除をしようと思いました。周囲に「便教会」を知る先生はおらず、高野先生に連絡する勇気

情熱を次世代につなぐ

栃木県

鈴木 すずき

健夫 たけお



ました。校長先生からいただいたお礼のお手紙を紹介します。

「…関東一円から自弁で参加：

皆さん会費を払って：一心不乱に磨く：ただただ驚くことばかりでした。参加された方々の心がピカピカと光って見えるようでした。学校も先生も、今こそこの会の精神を学ぶ必要を感じました。諸問題が山積しており、卒業式はどうなることやらと心配しておりましたが、おかげ様で無事終了することができました。祝電をいただきありがとうございます」

(1998年3月12日(引用終わり))

栃木の会が始まったころは、どの学校も多くの課題を抱えていました。私たちは子どもたちと一緒に掃除をしたくて、事前にデモンストラーションをおこなって

見てもらって、参加者を募る方法をとっていました。この学校では、クラス毎に全員が見学してくれました。不良と呼ばれるような生徒たちも、素手素足で便器を磨く私たちを見て、わずかに分足らずで目の輝きが変わっていくのを見ました。その甲斐あって、50名の生徒さんや保護者の方々が参加されて、危まれた卒業式も無事に挙行できたことへの勇気に繋がったのでした。

あのころは、全国の掃除に学会と競い合って質を高め、一回一回会の運営に真剣勝負で取り組んでいたように思います。現在の自分を反省しつつ、あの頃の情熱を次世代にバトンタッチすることが、私の使命だと思っています。

(321304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1702-1)

1997年よりの栃木掃除に学ぶ会25年間には、忘れられない皆さんの思い出があります。

そのひとつに、卒業式を間近に控えたある中学校での会があり

頭の中をリセットする掃除

石川県

もりかわ
森川

かずしげ
和重



2007年小学校のPTA会長時代に、何をしたらよいか悩んでいました。校長先生から「講演者を探してほしい」との依頼がありました。掃除をしている市山勉さんがすぐ頭に浮かび、電話すると快く引き受けてくれました。

講演は、鍵山相談役の掃除哲

学や広島の学校問題についてでした。私は話を聞きながら、涙が止まりませんでした。翌日市山さんに、「私がやりたかったことはこういうことです。トイレ掃除を教えてください」とお願いしました。

すぐに、金沢東テニスコートでわが子を含むジュニアテニスのメンバーに指導していただきました。時間を忘れ、一心不乱に便器を磨き続け2時間。ぼんやりした色の便器が、真っ白のはっきりした存在感を持つ便器に変わっていました。そして、ぼんやり曇っていた私の頭もみるみる透き通り、物ごとがはっきりと見えるようになりました。

私の行動が変わりました。やりたい事が見えるようになり、決断が早くなりました。

2008年3月1日、「新入生をきれいなトイレで迎えよう」と卒業生に呼びかけ、PTAの協力のもと、大掃除大会を行いました。メディアにも取り上げられ、先生方から「他校から注目されるので、気を引き締めて子どもたちと向き合います」との声をいただきました。

磨くことは、1つのことに集中することです。情報過多の現代、頭をリセットすることが必要です。掃除で、クリアな頭と行動の速さを身につけた子どもたちをつくりたいです。

最後に「まず机の上をきれいにしよう。机の上は頭の中の状態」。

(920-0059)金沢市示野町西7番地
協同組合土質屋北陸

鍵山掃除道との出会い

東京都

上神田 かみかんだ
梅雄 うめお



「84年間ありがとう築地市場」トイレ掃除大会参加

事に出会いたい」という想いの中で「調理師」という職業を知りま

岩手
県、北三
陸の普代
村という
小さな村
で生まれ
20歳ま
で暮らし
ていた私
は、〃男
子一生を
賭けるに
値する仕

した。そのための調理師学校があり、夜間部で働きながら国家資格が取得できる。一筋の光明を得た思いで1973年単身上京し、「新宿調理師専門学校、夜間部」に入学、己自身の責任で決めた人生のスタートを切りました。

学校で生涯の師となる師匠との出会いを得て、目指す「板前の道」を歩み始め、亡くなるまでの16年間、息子のように手塩に掛けてご指導いただきました。

その後は、5つの企業にて25年間、総料理長としての〃修行を積み、2011年母校に卒業生校長として招聘され今日に至ります。その年に発生した東日本大震災、被災地支援活動をされていた埼玉便教会の村田陽先生、高野修滋先生、さらに事務局の阿部豊

様などのご縁が繋がり、早朝街頭清掃活動へのお声掛けをいただきました。

おかげで、鍵山秀三郎先生のご尊顔を仰ぎ、ご挨拶が叶いました。『本当に偉い人に出会えた』という喜びで、心が熱くなったことを思い出します。職業柄、晒の力ウンター越しに「人間観察」をしてきて、「世の中に、偉そうな人はたくさんいるけれど、本当に偉い人はいないんだなあ…」と世間を舐めていた脳天から、鉄拳を叩き込まれたような衝撃でした。

実践活動の学びの先達の方々のご縁とご恩が積み重なっているように感じています。鍵山先生への恩返しは、教わったことを若い人に正しく、熱く伝えていくことだと思っております。

掃除は「気づく力」を高める

岐阜県

小山 こやま

晃範 あきのり



2007年、ネットで鍵山秀三郎相談役のトイレ掃除、道徳授業案を見つけました。小学校教師の私はそれを見て感動し、子どもたちに紹介すると反応もよかったです。「いい授業ができた」と悦び入りました。

しかし一方では、相談役の偉業

を伝えるだけで、自分は何もしていないという負い目も覚えていました。

2012年1月、東日本大震災のボランティアに行ったときに、高野修滋先生に出会いました。そして翌月、東海市での便教会に参加させていただき、ついにトイレ掃除を経験しました。

知識ではなく体を使った実践には、目には見えないことに「気づく力」があると感じました。私には何かをする際に、以前よりも迷いが減り、長期的視野に立つて考えることができるようになってきました。

以前の私は、子どもの失敗や荒れに対して、「注意して改めなければ」と思っていました。しかし今は、「どのようにすることが、

この子や周囲にとってよいことか」と考えるようになりました。

また、子どもたちが「どう過ごしたいのか、どんな環境がよいのか」と考えると、対症療法に追われることもなくなり、子どもたちは和やかに楽しく過ごせているように感じています。

掃除の何が「気づく力」を高められるのか。それは前述の「体感」に加えて、「良縁」だと思います。傲慢になりがちな私は、掃除で一緒にする謙虚で誠実な方々の影響を受け、便器を磨くとともに心の垢も磨かれています。

今後も掃除を通じて自らの修養に努め、子どもたちやご縁をいただいた方々に少しでも貢献していきたいと考えております。

(509)0124 岐阜県各務原市鵜沼山崎町5-5

人間学言志録との出逢い

香川県

小川 おがわ 純隆 すみたか

「古は小学、人を教うるに灑掃

(さいそう)・応対・進退の節、親を愛し長を敬し師を尊び友に親しむの道を以てす。皆修身・齊家・治國・平天下の本たる所以にして、而して必ずそれを講じて、之を幼稚のときに習わしめ」 古典 「小学」の小学書題の教えです。

灑掃こそが、掃除を表わす。禅堂や道場を無心で磨き、素直な心で自然と向き合い、自己を修め、道徳を身につける。

「小学」は修己修身の学、自己自身を修める学問。「大学」は、自己を修めながら、他人に良い影響を

与える修己治人の学問。

「大学」に、天子自り以て庶民に至るまで、壹に是身を修むるを以て本となす。この一文に多くの人が影響を受け、学ぶことの大切さを感じたのではないか。

鍵山秀三郎様の講演、書物にある言葉などを深く学び、自分自身を向上させ、他の人にも学びの大切さを知ってもらおう。

「人は何のために学ぶか。それは通の為に非ざるなり、窮して困しまず、憂えて意衰えざる為なり、禍福終始を知って惑わざる為なり」安岡正篤様の書より。

『人間学言志録』(越川春樹著)は、絶版になっていた書を、鍵山様が自費出版され、送っていただけ一冊です。『言志四録』(佐藤一斎著)は、『言志録』『言志後録』『言

志晩録』『言志耄録』の千百三十条

余からなる、自己を修める心の書であります。鍵山様との出逢いがないければ、論語、孟子、大学、小学、陽明学などを学ぶことはなかつたように思います。

自分より優れた人、自分より立派な人と出会い、より良き自分をつくり、より良き人生を築き、教える人は教えられる人より一歩手前で自分を修めていき、背中の人を導いていく。

「霧の中を歩めば、覚えざるに衣湿る」

これこそ鍵山秀三郎様の生き方ではないか！



香川県掃除に学ぶ会
初代代表世話人
日下耕造様建立